

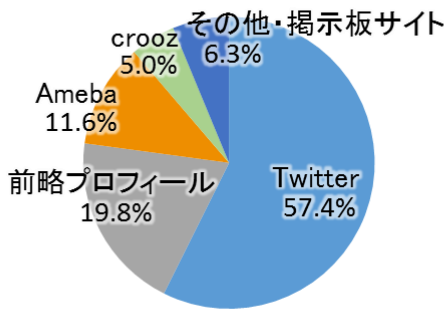
## 《平成25年度ネットパトロールのまとめ》

北海道教育委員会  
ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト

### 検出されたサイトの傾向の変化

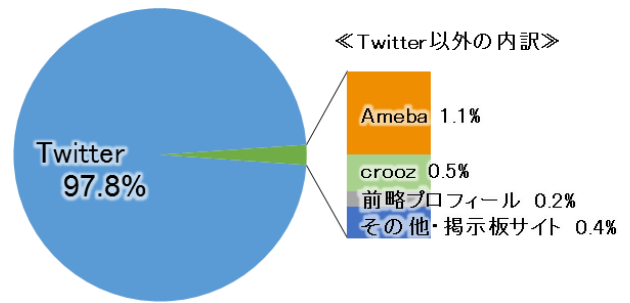
インターネット上で子どもたちに人気のあるサイト、サービスはその時々で変化していきます。昨年度(平成24年度)と今年度(平成25年度)で、不適切な投稿が検出されたサイトに大きな変化が見られました。

《平成24年度》



前半はAmeba、前略プロフィールからの検出が多く見られましたが、後半からTwitterからの検出が大きく増加しました。

《平成25年度》



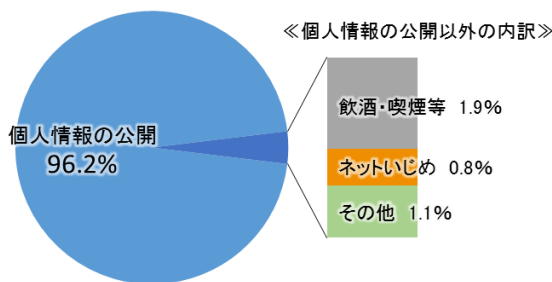
全体の約98%がTwitterからの検出となり、Twitterへの一極化が進みました。

※ネットパトロールの調査対象外である「LINE」などの無料通話アプリや、「Facebook」などの会員制SNSサイトの利用も増えています。

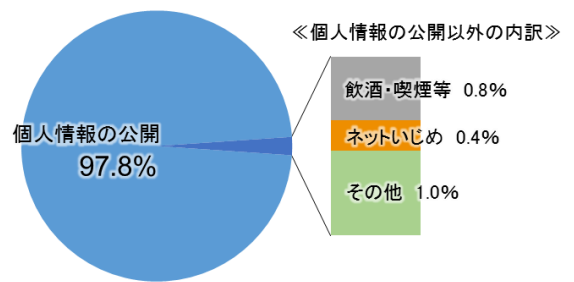
### 検出された投稿の傾向の変化

検出された投稿がどのような内容だったのか、いくつかの分類に分けて傾向を見てみましょう。

《平成24年度》



《平成25年度》



検出されたサイトの傾向の変化に比べて、検出された投稿の傾向には大きな変化はありません。昨年度と同様に検出された投稿のほとんどは、学校名、氏名、学年クラス、顔写真などをインターネット上に載せてしまっている「個人情報の公開」に該当するものです。飲酒・喫煙やネットいじめに関する投稿は、わずかな減少がみられるものの、依然として検出されています。

インターネットトラブルを減らすためには、子どもたちの利用しているサイトを把握し、どのようなことを書き込んではいけないのかをきちんと指導していく必要があります。